

1. 件 名：原燃輸送株式会社による核燃料輸送物設計変更承認申請（NFT-M12B型及びNFT-M4P型）に係るヒアリング（3）
2. 日 時：令和5年1月25日（水）14時00分～15時15分
3. 場 所：原子力規制庁 10階会議室（TV会議システムを利用）
4. 出席者：（※はTV会議システムによる出席）：
原子力規制庁 原子力規制部 核燃料施設審査部門
松本企画調査官、日坂管理官補佐、甫出主任安全審査官※、山後安全
審査官、真下安全審査専門職
原燃輸送株式会社
設計・開発部長 他3名※
5. 自動文字起こし結果：別紙のとおり
※音声認識ソフトによる自動文字起こしによるものであり、誤りを含む場合があります。
6. その他：
【原燃輸送株式会社からの配付資料】
資料1 ヒアリングでのコメントを踏まえたNFT-M12B型核燃料輸送
物及びNFT-M4P型核燃料輸送物の核燃料輸送物設計変更承認
申請の見直しについて

以上

時間	自動文字起こし結果
0:00:02	はい。規制庁の真下です。これから原燃輸送株式会社の核燃料輸送物の設計変更承認申請に係る面談を開始します。
0:00:11	まず、深い情報の発言に注意してください。
0:00:14	開示情報を発電してしまった場合にはその旨を指摘してください。
0:00:18	また、発言の前に所属と氏名を述べてから発言を開始してください。
0:00:23	使用しないとき、前川水戸にするようお願いします。
0:00:26	それでは本日、アールエイジの方から、小木曾さんの方からいただきました資料を基に説明の方をお願いします。
0:00:43	をし、
0:00:45	そうですか。はい、デンソー三野ですではすいませんヒアリングでのコメントを踏まえたAMGB to Bの設計変更承認制申請の見直しについてということで、以前、第1回第2回のヒアリングで受けたコメントに対する対応方針の方ですね。
0:01:00	ご記載させていただいております。主な第2回ヒアリングコメントを受けての変更内容としましてはOリングの方表のナンバー2の方ですね。
0:01:11	リングの経年変化の評価、これに関しては最長試用期間1年間を踏まえた上での評価の方を、ASRの方に反映させていただいて評価を追加させていただく方針としております。
0:01:24	また、ナンバースリーの方なんですけれども、第2回のヒアリングの時にはですね、実際に想定される使用開始予定回数は、年3、4回ということで、
0:01:34	評価については保守的に全10回というふうに設定したと説明していたんですけれども、以下の通りちょっと条件を見直しさせていただければと思ってまして、賞与で改正しては年10回なんですけれども、疲労評価については一応予定回数を二倍し、20回として、
0:01:49	評価をさせていただければというふうに考えております。で、他、第2回ヒアリングからの変更点としましては、No.の6なんですけれども、レジ、
0:02:02	の質量減損の影響についてなんですけれども、こちらのレジの質量減損については遮へい評価に有意な影響を与えず、経年変化の考慮する必要がないということ、
0:02:13	炉小F経年変化の章に行って、ご説明させていただくということで記載を見直させていただければと思っております。記載方法につきましてはですね、元厚労省D6の附属書類に記載しております。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:27	中性子の寄与が最も大きいプール 238 の対する、線量当量率の影響評価、こちらをろ紙 of にて影響がないことの説明としてご記載させていただければと思っております。
0:02:38	ナンバー7、PTCにつきましてはですね、こちらも再評価に優位有意な影響を与えないということで、基本的に水に均一に溶け込んでおりまして、密度低下の影響はないというふうに整理をさせていただいて、
0:02:52	口小Fにてご説明をさせていただければと思っております。その他ヒアリングではないんですけれども、最後ですね、ナンバー、
0:03:02	いうようにですね、No.14 のところでですね、追記させていただいているんですけれども、新たにですねガンマ線の評価についても、今回経年変化につきまして、
0:03:13	評価として追加をさせていただいております。第2回ヒアリングコメントを受けての変更内容としては以上となります。13号、
0:03:22	13番、
0:03:26	あ、すみません、No.13だけ品質管理のところの説明、説明が忘れておりました。品質マネジメントの基本方針と、以前はSRで記載させていただいた箇所なんですけれども、
0:03:39	こちら、別紙2、独立してですね、新しく品質管理の方法に関する説明書ということで、追加させていただいております。内容につきましてはですね責任体制がですね当社要求所有が、
0:03:52	移管されたりしておりますので当社中から、日本原燃さん所有に変わったりとかそのような形の品質管理の最新化をさせていただいております。説明の内容としては記載の通りとなります。
0:04:05	すみません。変更内容の趣旨としてはそのような形になります。よろしく願いいたします。
0:04:15	はい。規制庁の嶋ですはい。説明ありがとうございます。
0:04:21	いや、まず、私の方から確認ですけれども、すでに、
0:04:30	ナンバー8gですかね、経年変化。
0:04:35	について、
0:04:38	前回BSEの分解の花Cが、
0:04:44	分解による接合の腐食とかがですね、
0:04:47	放射線の方に、
0:04:51	放射線による経年変化の工業の中に、カテゴライズされていたりとかですね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:57	何かこう、
0:04:59	拡大要因に対しての経年変化の考慮というものがあんまり整備されていないように見受けられたんですけどもその辺はもう、
0:05:06	確実に直ってるっていう理解でよろしいでしょうか。
0:05:13	はい。原燃早ウミノです。
0:05:17	ですね経年変化につきましてPDC等の分解に伴うですね、エスコアの腐食等につきましては、基本的に腐食に関わるものについては化学的要因として不足で分類しておりますので、
0:05:31	ステンレス高野科学の欄にまとめて記載をさせていただければと思っております。各PTCやレジジン等につきましてはですねどのような熱価格等で反応が起こるのかということだけを記載させていただきまして、
0:05:44	腐食に関してはまとめてステンレスの各欄に記載をさせていただくように変更させていただければと思っております。
0:05:52	はい。規制庁の増本です。はいわかりましたありがとうございます。
0:05:55	だから被災が一残っていたとかそういうことがないようにしてください。
0:06:00	等後、
0:06:03	そうです。
0:06:05	ね
0:06:13	小さいのを
0:06:16	ところなんですけれども、
0:06:25	以前ヒアリングで結局熱分解云々とか、書かれてたりはするんですけども、局の方からミックされているので
0:06:38	1、最初に入れたPSAの量は何年たってもですね変化しないとか、そういった説明でいいのではないかといった指摘をしたと思うんですけども、その辺って直ってるんでしょうか。
0:06:54	はい。N-Sウミノです。はい。PDCのですね熱の欄にですね、新しくですね、プロフィーリングリコール等が分解されたりしたところの気相部とかに存在する、プロピレングループある人等の割合は、
0:07:09	0.1%未満と微小であり、分解生成物については、液相部に保持されるということで気相部から失われる物質は、微少であることから、密度低下は無視し得るほど小さいということの説明を、APD水のですね列の欄に追加をさせていただければと思っております。
0:07:29	うん。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:34	ただすいませんステーションバスけども結局液相になっても磯にあって も右はしないんですよ。
0:07:41	幻想ウミノですはい。そうですねプロピレングリーンコールの水溶液自 体の重点空間自体は密閉環境にありますので流出はしないというこ とで、中から何か流出するということはないです。
0:07:55	規制庁の瀬野ですけれども、もちろん、磯から木曾出て行ったそうい った話もあると思うんですけども、最終的には、
0:08:03	先ほど
0:08:06	おっしゃられた密閉空間にあるってことんが重要だとは思うのでそちら についても記載いただいて、
0:08:12	過去のだと思うんですけどもいかがでしょうか。
0:08:16	はい、原燃早ウミノです。はい。外部への流出はないことについては確 実に記載させていただくようにいたします。
0:08:23	何でそうなんだよ。
0:08:30	ちなみに前回前々回でも何かそんな話をされ、
0:08:34	してたような気がするんですけども、
0:08:37	今回、
0:08:38	それを反映されてなかったのは、下ね郵送さんの方で何か考えがあった もんなんでしょうか。
0:09:21	7番、規制庁の長です。7番。
0:09:32	駄目だろ。読んでもいいけど
0:09:36	すいません。ですねプーリング=水元素ウミノですプロピレングリポリ ス液が充填空間に密閉環境であり
0:09:46	分解により生じた物質とは、外部への流出はないということは、以前か ら一応記載させていただいてたんですけども、
0:09:55	ちょっと規制庁の真下でちょっとお待ちください。
0:10:02	書いてあっても、何で関係ないとか。
0:10:18	関係ないっていう。
0:10:37	あ、
0:10:46	できるところ行っちゃう。
0:11:49	はい。
0:11:51	作業。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:12:02	からって、いつのこと言ってますか、すいません規制庁の場所ですけどもがあるっていうのは、今回の資料の話ですかそれとも前回のヒアリングによって、
0:12:14	N-S ウミノですすみません申請時点での炉小Fの方にもですねちょっとすみませんわかりにくい記載になってしまっていたのかもしれないんですけどもプロピレンぐりポールの値II及び化学のところの、
0:12:28	最後の三行にですねF2表の方の7分の9度、9分の7のF2表の資料なんですけれども、プロピレンぐりコール水溶液の充填空間は、
0:12:39	密閉環境であり、分離により生じた物質は充填空間に保持されるため外部への流出はないがということで、ちょっとそのような記載はさせていただいてたんですけども、
0:12:49	ちょっと先ほどご説明させていただいた、気相部洞爺気相部についての記載はなかったので、その分でちょっと先ほどのご指摘を受けたのかなと思っているんですけども、認識は合っているでしょうか。
0:13:16	はい。規制庁の真下です。これ一、
0:13:20	この記載させ、当初の申請書の記載だとこれは変更計画。
0:13:30	はい。はい。はい。
0:13:31	流出はないが密度低下率を考慮して、結局、権利変換の考慮を、はあるとって、遮へい会社でこういう遮へいの解析を行うと。
0:13:44	言ったのを、
0:13:50	な、これは何ででしょうかっていうのを、確かに言ったと思うんですけど、結局大便の技術がないのであれば、経年変化の考慮は必要ないでいいと思うんですが、いかがでしょうか。
0:14:04	すいません遮へい解析の方は保守的に考えましたでいいと思うんですが、
0:14:13	はい、デンソー海野ですその通りでございます。基本的に外部流通ないのでちょっと以前は、考慮して再解析を行うというふうに記載していたんですけども、
0:14:23	追記してさせていただいた木曾駅宗の分も含めてですね外部への流出はないので、無視し得るということで変化の影響はないというふうに、
0:14:33	考え方を変更させていただきました。その通りでございます。すごい説明。
0:14:42	すみません規制庁申しますけども今回いただいたNo成分のところの説明だと、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:49	許認可によるD S N。
0:14:52	清病院等の影響は、
0:14:56	ていて、これは微妙だけでも、県、あび。
0:15:00	起こるけれどもあのビデオの中で年間の考慮必要はないですという説明になっていて、日程空間になって川合出ることはないので、
0:15:10	成果の公表は必要ないですというような書き方にはなってませんが、いかがでしょう。
0:15:18	あとすいません液相と気相の話はそうするとあまり関係がないように思いますよ。
0:16:00	筒井。
0:16:01	はい。幻想目ですすいません。送付させていただいた資料については遮へい監視評価に有意な影響を与えるというふうな記載ぶりになっているんですけども漏えい分に関してはですね、
0:16:15	重点空間の方でB Pされてるので問題ないという書きぶりで整理させていただければと思っております。
0:16:23	社長の真下です。はい。承知しました。ありがとうございます。はい。清理事。
0:16:34	すいません、規制庁のサンゴですけども、
0:16:37	本当2k a変化の考慮という内容について、申請者側での整理、きちんとされているんでしょうかね、何かいまいち言われたから直しましたというふうにしか聞こえなくて、
0:16:51	どういう考えを持ってこういうふうにして評価しましたっていうのが見えてこないんですけども、
0:17:02	今、
0:17:07	北島マシモですすいません。
0:17:10	補足する等、
0:17:11	こう考えます経営の高度化を考えますという話と、あと、
0:17:18	評価でこう考えましたっていう話、幸せとカー、あとは、
0:17:24	前回と評価でこういうふうに考えましたっていうのが、いまいちリンクして何か説明がリンクしていなかったりとかですね。
0:17:32	もちろんあと要因そのものが結構ごちゃごちゃになってたりとかですね。
0:17:39	時折ロジックが飛んでいたり繋がってなかったりっていうところが見受けられるように思います。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:17:47	その辺は
0:17:49	なるべく整理していただきたいのですけれども今、対応状況としていかがでしょうか。
0:18:29	規制庁の場所ですなんか相場されてるところ、ちょっと水を差すようではあるんですけども、
0:18:36	どういう評価をやりましたってのは和智もちろんわかりますわかりますけれどもなぜその評価を行おうと思ったのかっていうのが、経年変化のフォローの記載のところとですね。
0:18:47	並びがとれてないじゃないのですけれども、
0:18:50	何かこう、
0:18:52	説明がちぐはぐなところがあるんですよね。9年間の考慮でこう考えましたでも、
0:18:57	こういうこともあるかもしれませんので結構、
0:19:00	遮へい評価でこういうことをしますみたいな。
0:19:03	その辺の説明を、できれば統一していただきたいと思って、
0:19:09	はい、すみません一貫した説明で、
0:19:13	やっていただければと思います。もちろん、
0:19:16	投資的に考えましたとかそういうのもいいと思う。
0:19:27	すみません。ここですけれども、聞こえてます。
0:19:33	規制庁真下です。
0:19:36	いいですかねちょっとじゃあ、えっとねその前の事実確認をチャットした方がいいと思うんですね。
0:19:43	ど、
0:19:44	ちょっとよくわかんなくなってきたんですけども、
0:19:48	要はP G水は、使用し、使用予定期間中にずっとその容器共用されて、
0:19:57	非平べったく言うとうなるんですかね。中の部分が分解をするんですかね。
0:20:06	ちょっと競うって言われたんでちょっと引っかかってきたんですけども。
0:20:11	要は、
0:20:14	P G水は全部普通は溶けてるわけですよ。
0:20:17	中にね。
0:20:18	溶けてて、なプロピレングリコールか何か溶けてる部分だと思うんですけども、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:29	使ってるうちにどうなるんですか、揮発するんですかそれとも中によ わあ、
0:20:36	中で適当に何か放射線を受けたりなんちゅう関係ねつけたりして分解す るんだけど、例えば、水の中にとどまってるんですかね。
0:20:47	当然
0:20:49	W i t h使ってるからポイドがあるんでね、基礎があるのは理解できる んですけども、そちらに移るのか移らないのかねその辺はどうなんで すか。
0:21:00	玄磯田です。
0:21:02	プロピレングリコールの分解は、ちょっと記載してあるように、熱によ るものと、放射線によるものが考えられますと、熱によるものはプロフ ィールリコールが、
0:21:15	脱水反応で水とアルデヒドに分かれるんですけど、ドアのごく微少です けども、分かれるんですけど、それらは、周りの水に普通に溶け込む物 質なので、液相に工事されます。はい。
0:21:29	んなりますんで、一方で放射線文化に関しては、ちょっと平行反応なん でいろんなものができ上がるんですけど、水素とか二酸化炭素とかな。
0:21:41	端の方が切断されてどうしても水素になってみもしまったものは、全体 の割合の中で本当にごく微量ですけど気相のほうに移ります。うん。 うん。
0:21:51	ただそれなりのに開発された環境でもありますので、水の中に押し込め られる部分もある程度一定量あります。
0:22:00	総じて考えると、その遮へい、
0:22:03	性能を持たせてる液相部分は、
0:22:06	ほぼほぼ変わらない、密度としては変わらないというふうな考え。
0:22:11	その後、
0:22:12	じゃあね今の
0:22:15	要は水の中にほとんどいるわけですよ、全部ね。
0:22:20	だカラーチャイ解析やる上での今のモデルで、検出密度が何か、
0:22:26	何か変わるとかっていうことは、
0:22:28	ないと理解してよろしいですか。
0:22:33	N - S ヤタです。そのご理解でいいよ。はい。次なんですけども、木曾 に行くやつ。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:22:39	ていうのは、どれぐらいかっていうのは併行反応って先ほどご説明いた だきましたけども、その辺はどの程度かっていうのは0.1%でさっきご 説明されたんですかね。
0:22:50	ていうのはもう、わかってるんですかね、ということでもいいんですか。
0:23:11	すみません。放射線で気相に行くものは、少なくとも0.1%未満。
0:23:18	です。
0:23:20	0.1%超えないということなんですね。
0:23:24	であれば、次に
0:23:28	それに伴ってポイントの部分のボイドの部分っていうか、中の圧力上昇 ですよ。これどの程度かって把握されてますか。
0:23:41	圧力上昇は、ちょっと今、
0:23:45	字があれですけどネツ解析のところプロピレングリコール充填部分 の圧力を計算しておりますので、その圧力になり、気液層の量とか、家 ってというかそれを、
0:23:59	分解したやつも考慮されているわけです。どう考えていいですか。
0:24:04	愛されたものは、そもそもの量が、
0:24:08	この0.1%未満や、ウとかでわからないんだから、そこがね、そこがす ごい大事なところで、
0:24:16	結局その0.1%だっつたって、量が多くてボイドがちっちゃかったら 圧力にすごい響くわけですよ。
0:24:24	だから、その辺も全然もう、
0:24:28	五味で遊ぶ上昇は高々組み込み込み込み%でっていうことであれば、影 響はないですねって話ですよ。
0:24:38	原燃輸送、
0:24:40	ということであえてお話しすると、よく知識のね、ボイドの計算って いうのは、
0:24:46	膨張するわなんちゃら出てくる方は乗客二つあるからね圧力ボンボンわ かっていくわけですよ。結局そういうことが、そういうふうなことを 考えなくてもいいと。
0:24:56	さらに、あれとは、いわゆる知識の知識のボイドの計算とはちょっと違 うにしろ非常に狭い空間の中、狭い基礎の中でね、
0:25:06	少しでも感度が高い可能性もあるわけですよ。だからそういうこと が、そういうことないんですよっていうんだっらないんですよでしょ

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	うし、今まであまり基礎液相っていう考え方で、放射線分解でわずかに出てくるってまた仕事ねやちゅうふうな意識もありましたけれども、
0:25:24	ただ、明確にそういうことを書かれるとそういうことによって、じゃあ何が何にどんな影響を及ぼすのか、付加条件として悪さするものはないんだろうか。
0:25:36	それは、
0:25:40	今考えてることに対してごくごくゴミでね、仮に、
0:25:44	そこの、そこで考えたものが、夜、要は、
0:25:48	それはあれですよ。要は、基礎の部分の、ボイド率の多少なりとも温度の上昇と、
0:25:55	温度の上昇と、出てくるものプラスみたいな形で、圧力上昇の要因になるんだけど、ことが考えられるんだけどそれは、
0:26:06	要は家やったら高高全然五味五味の近野五味のレベルですと、いうふうなことまでは、だから、考慮する必要がないとかね。
0:26:16	いや実はボイド率がほとんど低かったんで大変なことになりましたっていうのもそれも一つの結論かもしれないですよ。
0:26:22	だからその辺がね、ちゃんとわかるように、理解できるように、
0:26:28	先ほどの、
0:26:29	遮へいの面ももちろんですけども、基礎っていう話が出てきたらそっちの方にも話がっちゃいますから、その辺も、抜け目ないように、ちょっと検討し影響がないなら影響がないと。
0:26:40	かかるならもう別に影響があるということが事実であればそのようは考慮しなきゃいけないということで、
0:26:47	どうしてるかと、というようなことは、ちょっと明らかにしていただきたいと思います。
0:26:52	だから、
0:26:54	長いこと置いておいたら、もちろんその閉じ込められた空間の中で何が起こってんだろうと。で、先ほどのご説明の通り、原子炉水は変わりませんってのも変わりません結構です。それでね、
0:27:08	例えば、だけど、圧力みたいなものは、わずかな量が、
0:27:13	ものすごいものが出てね、場合によっては響く可能性がある。
0:27:17	ていうのは、プロピレングリコ薄井っていうのはその閉鎖空間の中ではほとんど、ほとんど、
0:27:24	90%以上多分あると思うんですけどもそれだけの、要は、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:27:30	文書なりたらおかしいですけども、あるわけですよね。その中で、
0:27:35	そのやつの0.0、1%にしても、それが今度ボイドに効いてくるわけだから、それなりにうわっ管と上がってくると思うんですよね。だからその辺も、影響がないなら影響がないと、いうことを、
0:27:49	なかなかこうすることで圧力上昇は、例えば、1万分の1とかね、1000分の1ですとかね、そういうことで、問題ありませんということであれば、そういう、その旨をちゃんと書いておいていただければと思います。
0:28:05	はい。すいません以上です。
0:28:09	家田です。ご説明わかりました。ちょっと今、手元がないので、確たる数字とかは言えませんけれど、PDS部分の圧力上昇に関しては、
0:28:20	ある程度こうなって水蒸気が建つことと、あと、水部分がどうしても高くなるので、体積膨張してしまっただけでその分気相放出をしてしまう。
0:28:30	他所の2点が明らかに大きくて、気相部に仮に追加され、放射線分解のものである。
0:28:38	ごく少量がついて、ある程度それは有意ではないという評価をしてたと記憶してますので、ちょっと、もう1回になる理由の説明、持ち帰った上で
0:28:49	当初Fの記載をちょっと考えたいと思う。
0:28:52	他、すいません、お互いにそれ、どうですかね。独立じゃないですからね。
0:28:59	まず出ないということ。
0:29:02	出ませんよほとんどはその水の中にとどまるんですよっていうのがまず大事な話ですよね遮へいの面ではね。
0:29:08	それで、
0:29:09	減ったやつを悪さしませんよっていうこともあるわけですよね。だから、そこを、出たっていうことを、
0:29:17	述べられるのであればその影響ももちろん、そういうこともある。もれなくつついたらおかしいですけどね。
0:29:30	示していただく必要があると考えてます。以上です。
0:29:39	米澤です。承知しました。
0:29:42	お願いします。
0:29:48	これきちっと間違いです。どうぞ。はい。
0:29:52	赤尾カー。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:29:55	規制庁側からあれば、規制庁のサンゴですけれども、
0:29:59	もともとの
0:30:01	申請文書の内容では、プーリング＝水溶液放射性とかの分解で、
0:30:12	密度減少。
0:30:16	そして、それを保守的に包含した三つを用いて、
0:30:23	解析を行ってるというふうに、
0:30:26	余命。
0:30:32	今回の修正の方針みたいのところでは、
0:30:39	やっぱりこの低下をするっていうこと。
0:30:44	なんですかね。
0:30:52	日程されてるからなくなる。
0:30:55	て言ってるのか。
0:30:57	分解してなくなるからなくなっ。
0:31:01	なくなるけれども、
0:31:04	なくなり具合が少ないので、遮へいの計算結果に影響が出なかったって いうか、
0:31:12	そのなくなったものを包含した値で、すでに解析してましたっていう か、
0:31:19	何か3種類、
0:31:22	余命んですけれども、
0:31:24	いろんな制度です、いろんな減るといふか、我々が今ヒアリングと かで確認している最中にそういった内容のことが、そちらから情報が出 てくるんですけれども、
0:31:36	結局のところを、
0:31:39	遮へい解析においてプロピレングリコールの経年変化分解する。
0:31:47	するけど、どうなのかとか、
0:31:49	どういう考えになる。
0:31:53	何ですか。これを、
0:31:56	そのあとで回答しますっていうふうになんかなってくると、そもそも整 理してないのに何か説明しに来るのはおかしいっていうことになるん ですけれども。
0:32:05	どうなんですかね。何かいまいち混乱してきて、私にわからないだけな のか。
0:32:12	お答えいただけますでしょうか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:32:16	N-Sヤタです。今野さんの発言の中にあつたお考えの中でいうと、最後におっしゃっていた、そもそも密度低下を考慮した値を遮へい解析に用いていた。
0:32:31	という説明になります。これは、
0:32:34	プロピレン具=水溶液の充填部の温度、
0:32:38	開熱解析で求められた値があつてそれ一から密度を計算するんですけど、その際に、温度を切り上げた値の密度、要は低い密度となるような密度を、
0:32:53	選定して、それから遮へいに用いてる密度にしてありますと、プロフィールリング=が分解するとかそういう、
0:33:03	僕はあるかな変化を、
0:33:06	の影響を、
0:33:08	明らかに上回るだけの密度の切り捨てを行った上で遮へい解析をやっておりますので、そこで吸収できるというのが、大本の考え方です。
0:33:19	規制庁さんはです遮へい解析の計算をするときに、
0:33:24	PJTのある領域というのはどういうモデル化をされてるんですか。
0:33:33	音ちょ。
0:33:34	厳格だから、恩田鶴。
0:33:37	水野がどうのこうのっていうのは、
0:33:41	質量と解析から、
0:33:44	来てる密度っていうこと。
0:33:47	結果ね。
0:33:50	原子個数って何か別に、水、
0:33:54	堆積膨張とかそういうのって変わらないと思うんですけども、
0:34:02	現在は岩佐です。えっとですね。
0:34:04	何といたしますか。
0:34:07	ね、PM型では温度が上がってPDSや膨張して密度低下しますと、それは膨張室内に流入するんですけど、
0:34:18	その膨張室内に流入した部分は、
0:34:21	安全に無視して空気に置き換えた上で、
0:34:26	置き換えますと、ピン時水部分は膨張して、
0:34:31	美術水分体積が増えるので行くんですけど、その
0:34:36	減少した値、減少した密度は、
0:34:39	原子個数ミス等に換算して、そこの遮へい体に当てはめると、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:34:46	膨張した膨張室内に入っていく水の分は完全に無視すると。
0:34:51	いうふうな評価をしており、
0:34:53	このような回答で伝わりますか。
0:34:55	はい。規制庁サンゴです。
0:34:58	そうすると、
0:35:00	本来一貫した考え方のもとに評価を、
0:35:05	何かこの経年変化の評価というのが取り入れられるならば、
0:35:09	経年カーによって分解性したものは密度が低下したというふうにみなして、
0:35:16	今までと同じように温度上昇とかの密度低下をさらに加えて、解析評価をするっていうのが一貫した考えだと思うんですけども、
0:35:25	今まで持っていた体積膨張とかの余裕の中に含まれるからいいんだっていう、何か、
0:35:34	ちょっと考え方が違うんじゃないかなと思うんですけども。
0:35:43	すいません規制庁の方ですけども、
0:35:46	今さんさんが言った話に同意するんですけども、
0:35:54	そもそも経年変化も何もないところでね。
0:35:58	保守側のモデル、要はね、熱解析を行う、遮へい解析を行うという上で、要はボイドのところを無視しますよっていうことを決めたわけですよね。
0:36:10	その時に経年変化。
0:36:13	どうなんだろうと関係ねえやなんですよね本当はね。
0:36:17	で、
0:36:18	さらに、
0:36:20	ものがどのように変わるから、こうなるんですよ。
0:36:24	というところになると、そのモデルの保守性に加えて、その
0:36:30	分かな、
0:36:33	経年変化。
0:36:34	の、ファクターをオンした上で評価しなさいっていうことを評価するのが普通だと思うんですね。
0:36:42	で、
0:36:43	やってみたけど、結果としてよかったわっていうのはなかなかね、なくて、
0:36:49	だから、さっきも言ってるけど、さっきも私、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:36:54	熱田は出るんですけども、
0:36:58	要は、今やってるんです解析っていうのは、経年変化の家の人も入ってないわけです。熱解析、遮へい解析入ってないですよ。
0:37:07	で、
0:37:08	それに加えて、要は、
0:37:12	実際、要は、P G水自身がどのように変わっていくかっていうことが変わりようが、全然そのモデルで十分ですよ。
0:37:22	たかだかこの程度の減り方しかないから関係ないじゃないですかという説明なのか、いやいやこれぐらい減るから、この、例えば、全体の技術三つ減らして計算しますとかっていうのが、
0:37:36	経年変化の考慮だと思んですけども、
0:37:39	だから、
0:37:41	もともとこう考えたって別にいいじゃないっていうのはちょっと考え方が、私も違うと思いますそれは最初のヒアリングの時にもちょっと申し上げたと思うんですけどね。
0:37:52	ちょっとその辺のご理解をちょっと、どうするのかっていうのはちょっとよく考えていただきたいなと思います。以上です。
0:38:56	例えば更新させてくれば、
0:39:01	今朝聞いたときにさ、はい。いや、ないからそれは考慮しないんです。多分そうそう。いや、そうじゃないんですから、こうなっちゃう。
0:39:12	何でレジやっぱわかる。
0:39:14	うん。
0:39:18	結局考慮しましたが、整理できてないんじゃないか。
0:39:24	保守的である保守的だったのが1ヶ所整理してくればそれで良いっていうのは何か。
0:39:31	違う。聞くたびに答え変わりうる覚えちゃう。
0:39:36	いやもしかしたら聞かない。
0:39:41	その方がどこまで理解してるのか私たちも把握してませんからどっから説明したらいいのかっていう話かもしれないです。
0:39:48	ここ、
0:39:52	だから規制庁のことをそんたくするのかわかんないけど、規制庁期限を超えちゃいけないから何かきちん答えようとするけど、それがあったかね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:40:00	我々も聞くこといろいろ、いろんなところから聞いているから、一貫しないなんて、
0:40:07	調べて、おなじことを何度も聞いて、
0:40:11	これが変わっちゃうんじゃない、そこに矛盾してちゃうっていう、
0:40:16	偉い。うん。
0:40:17	そういう通りはないんです。
0:40:20	僕、
0:40:20	あれ、繋がりの方、やっぱり聞き直しちゃう。
0:40:24	そうだとするが、こん時があって、違うときにはこうって、
0:40:30	結局達成してくれるっていうのが、
0:40:57	倒壊した。
0:41:02	すいません規制庁のサンゴですけども、
0:41:07	今、そちらで何かこう相談をされて、何かを言おうとしてるっていうことを待っているということでもよろしいんですかね、何かわかるようであれば、
0:41:17	ヒアリングを改めた方がいいのかなと思うんですけども。
0:41:22	原燃輸送です。こちらとしてはもともと取ってた保守性の
0:41:29	何か保守性があって、これは何かがあったときのために今、
0:41:34	用意しているようなものなんです。
0:41:36	なんですと、今、経年変化の考慮をなさいたいという時に僕は坂家と有機物なのでどうしても、
0:41:44	多少の水の元素はどうしてもある。で、その密度現存量っていうのを考えてみると、明らかに今んとしている。
0:41:53	保守性の中に含まれる程度であることがわかっているので、保守性を考える上で、例えば安全係数を1. 幾つかけてますとかっていう、
0:42:05	ただ単に数字で出している保守性の考え方だったら今の矢田さんの説明はわかります。
0:42:12	ですけども、ボウリュウに逃げた分を無視するように考えるんですけどって言ったらもうそれはそういった現象を模擬してるっていうふうに見えて、
0:42:24	目下ら一持とうPDS伊賀へ、密度低下した部分でそこからさらにどういいう。同じように、同じ、今までの考え方と同じようにポイド逃がしてっていうふうには、さらに減ると思うんですね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:42:39	もしも、申請者側の説明として、現象としてボイドに逃げる分を無視するっていうことの方で、一律、何かもうエリアっていう数字で保守性を与えたんですと。
0:42:55	いう考え方ならまだ、理解できるんですけどそういった考え方だっということをお願いなんですかね。
0:43:03	仕事がちょっとすいませんまだ続いて、申し訳ないんですけど、保守性を考える上で、ある、もう何て言うんすかね、工学的な何か経験とかに基づいて、係数を掛けましたっていうのと、
0:43:18	起こらないかもしれないけれどもその現象を模擬して、こういうふうと考えてますっていうのと、
0:43:26	何か考え方が違うんじゃないかなって思っていて、
0:43:29	同じな結果は同じなのかもしれませんが、
0:43:33	減少に伴う保守性用っていうんだったら新しい現象、例えば経年変化を考慮するっていうことが入ったときに、
0:43:43	累積させなきゃいけないと思うんですよね。
0:43:47	ただ単に係数を掛けて保守性を持たせましたっていうんだったらその係数に別に何か意味があるわけでも何でもないと思いますので、その係数の範囲内に含まれてよかったですねっていうふうにならなくてもいいと思うんですけども。
0:44:01	うん。どちらなのかっていうのを確認するとともに、そもそもどういう整理をしたんでしょうか。
0:44:09	教えてください。
0:44:15	うん。
0:44:16	はい。
0:44:17	林船場です。
0:44:19	もともと、
0:44:21	P D S 今温度をが上がったときに、密度が低下してその分が膨張しつつ、逃げるんでその分は遮へいとして考慮しないというのはそこまでは、
0:44:31	次、とらえてる現象です。
0:44:33	で、そのときの水の膨張を考える上で想定している温度が熱解析上あるんですけど、
0:44:42	この値で家さんすると
0:44:44	P D A 水分の密度がここまで下がりますというのがあります。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:44:49	ただ、余人を与えるために、温度の値は切り上げてより密度が下がるような値で、
0:44:57	遮へいを評価をしていますと。
0:45:00	その密度低下分は、経年変化とかの影響を考慮しても、十分に副含まれるだけの密度になっていますと。
0:45:11	いう考えです。なので、現象としてP G水が膨張室のところに逃げるっていうのはまず最初に考えるんですけど、より実ガスっていうふうなマージンのとり方をして、
0:45:31	すいません。ただ単に計算上そうしたっていうか、その切り上げたっていうのが、じゃあ、係数として幾つかけたんですかとか、幾つ足したんですかみたいなその係数を今回の経年変化のところで、
0:45:48	消費者というかその経営、
0:45:50	計数の部分をここに持ってきただけっていうような説明は、何か今初めて聞いたような気がするんですけども。
0:46:00	何かどれぐらい
0:46:04	切り上げによって余裕があって、
0:46:07	今回低下すると見ても、なかなかこれぐらいでその余裕の中に含まれますので、っていうのがちょっと定量的に示されて初めて遮へい解析変更しませんっていう結論替えられるのではないのでしょうか。
0:46:31	要は、年々下がったんです。すいません。その切り上げる前の生の温度での密度が幾らで切り上げた後の密度がこれぐらいで、その差分がこの程度でこれはP D Sの分解
0:46:45	の影響がこれに対して明らかに値 40 分、密度減少を考慮してますという説明は、
0:46:52	ここには確かにしていません。数字を定量的に示したこともない。
0:46:58	です。
0:46:59	はい。で、すいませんちょっと途中で申し訳ないんですけど、今、申請者側が説明しようとしている、説明内容というのはそういうことを言ってるっていう理解。
0:47:09	でいいんですかね。
0:47:13	そういう考え方ではありませんよっていうのであれば、きちんと説明して欲しいんですけども。
0:47:20	うん。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:47:32	現年度ヤタですね、もともと最初に申請したときの考え方が今私が伝えたような解析の誘導。
0:47:41	生まれるっていう考えでいたんですけど、その分解生成物明らかにPDSに保持されることとかを踏まえると、どちら処理少量なので、無視し得るという表現でもいいかなと思って今無視し得るという方。
0:47:57	うん。のFを整理して申請することを考えておりました。
0:48:11	衛藤宗。
0:48:13	それときちっと多分ですけども、
0:48:18	申請、一番最初に書いた申請書の記載内容から、整備の内容が変わりました。
0:48:25	だっていうことなんですか。
0:48:32	年数が経ってそれはその通りです。
0:48:36	何度も言うんですけども、きちんと申請書を整理した上で出してくださいって言うのになぜ、
0:48:44	考え方が変わってしまうんでしょうかね。
0:48:48	いやもちろんより安全性を考慮するとこういう考え方になるっていうこと。
0:48:56	だからわからないこともないんですけども、
0:49:01	今のことを切り取って、
0:49:05	今の部分だけを聞いてると、何かちゃんと
0:49:09	直ってなかった。
0:49:10	何か、それともただ単に説明が大変になってきたので、何か。
0:49:16	考え方を家帰って説明しましたっていうふうになってるのか。
0:49:24	えっとですね、こちらに関しては、もともとその解析の余裕巻き切り上げた値とかで、
0:49:32	含まれるという考えで、1点申請して、それで最初のヒアリングの段階で、もともと設計誘導というものは何か、
0:49:45	何かを想定してかな、少なくとも経年変化を考慮するという以前に、与えたもので、その経年変化を考慮する場合はそれにアドオンした。
0:49:56	評価が必要なんじゃないとか、あとはもう、どちらにしろ、少なくとも閉じ込められてるから原子個数水の低下は低すぎないっていうふうに考えられる。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:50:05	ではないとかかそういうふうな意見交換の中で、ちょっとその少なくとも解説、過去に設定していた裕度の中で、説明するということは、ちょっと
0:50:17	なかなか、
0:50:19	受け入れがたいんだなあというふうな判断がありまして、それで、ちょっと説明方針を変えてはいる。
0:50:26	です。
0:50:28	んですがちょっと密度低下の部分を定量的に示した上でこの範疇に明らかにJISの分解、影響が含まれますよという説明をした上であればその
0:50:41	もし受入れる。
0:50:43	可能性がありそうです。
0:50:45	そんな観測も今ありますので、
0:50:47	元のスタンスに戻ることも考える。
0:50:52	規制庁のサンゴですけれども、まずですねこの場合は申請書の内容について事実を確認していったらいいところなので、こちらがこういう考え方がいいんじゃないかというふうな意見をそちらに言って、
0:51:06	採用阿部申請者側に採用されている申請書がこうなったっていう場ではないんです。
0:51:12	受入れる考え方を申請書に書くっていうのは、そういうテクニックはあるのかもしれませんが、そもそも何をもって安全性の評価をしたのかっていう説明を求めているので、
0:51:24	受け入れられる説明っていうのは安全性の評価をこういうふうにしただっていう説明であると思うんです。
0:51:32	うん。
0:51:33	で、その上であえて言いますが、
0:51:41	何ていうんすかね。
0:51:45	体制に大きな影響を与えるところではないっていうのは理解した上で、
0:51:52	どういう考え方をしている事業者とか申請者がどういう考え方を持っていて安全性を評価したのかっていうのは、自由だと思うんですね。ぎりぎりの基準値だったら何かすごい、
0:52:05	もしかしたらちょっと違う要素があって、その基準を超えるとかっていうふうになってくると困るかもしれませんが、
0:52:13	このケースについて言えば、そういったことではないわけですよ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:52:18	なので、申請者がどういうふうに考えたのかっていうのが、申請書でちょっとわかりにくいし、何か説明がなく、よく、
0:52:28	通ってないんじゃないかっていうところを確認している最中であって、
0:52:33	では中断です。
0:52:35	申請者としての考え方が変わるっていうのはそれは逆に変わっちゃいけないっていうことはないと思うんですねいろんな、これだけ時間が経ってしまっていますし、
0:52:47	本来であれば、今、こういう考え方です。
0:52:51	っていうのが、何か人から言われたから変わるっていうのは何か変なような気もするんですけども、別にそういうのが悪いは駄目だっていうことではないと思いますよね。
0:53:02	ええ。
0:53:04	今は、今回、2回ヒアリングを経て今、3回目として出てきたときに、そちら側でおっしゃっている。
0:53:17	へ人数は低下スルー可能性というかその現象として分解反応っていうのは起こり得るっていうのはあるでしょうと。だけれども、遮へいの
0:53:31	計算をしたときに、もう、すぐその計算結果に表れてくるような影響は出ないんですと。
0:53:41	もう、
0:53:42	桁が全然違うようなもの、数字の要素に入力条件にしかなくなってないんですっていうふうな考え方になりましたっていうんだったらそれはそれでいいと思うんですけども、
0:53:53	そういう説明であるならば、経年変化の考慮っていうのはそういうその結論を、
0:54:02	に至るのが自然な内容で、どういうふうに考慮したっていうのを、説明して欲しいですね。
0:54:20	今言ってるのは
0:54:24	ちょっとこの話だけこんなに話して申し訳ないんですけども、
0:54:29	PVが入ってるところは、日程されてるので、そもそもものが外に出ていかないの、変わらないんです。
0:54:37	て言ったら、
0:54:40	原子個数水は変更する必要はないんですっていうふうになると思うんですよ。
0:54:46	でもそれとは別に、別にとというかそれさらになのか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:54:51	文化するかもしれません。
0:54:54	で分解を考えても、
0:54:57	影響はないんです。
0:55:00	ていうのが二つ書かれていると。
0:55:04	そもそも密閉されて減らないんだったら分解されたっていかどうのこのって書かん分解されたものを原資が出ていくわけではないんだから関係ないんじゃないかっていうのと、
0:55:14	何かこう、
0:55:15	つなげられないような気がしていて、
0:55:19	そこをちょっと、
0:55:22	何て言うんすかね。わかぞどういふうに考えているのかなっていう、何でもかんでも書いておけばいいのか。
0:55:30	いうところで書いてるんですっていうのか、きちんと結論。
0:55:36	を導くために必要だから書いてるのか。
0:55:40	何か有井、何か、1回目のヒアリングから何かずっと言ってるようなところなんですけれども、
0:55:47	そのあたり、どういう、
0:55:49	どうなんでしょうかね。
0:55:52	ご意見いただけますかね。どういうふうな説明をして欲しいかという。
0:55:56	ことについて、
0:55:57	いかがですか。
0:57:25	なんか、
0:57:28	この原燃さんのマツモトです。
0:57:31	いろいろ議論
0:57:34	を説明させていただいたんですけどもうパーテーションの説明はもう、一旦もう申し上げた通りでして、
0:57:41	解析理由の中で
0:57:45	余裕をとってることによって、経年劣化の中が経年劣化による影響は、その中に入ってくるだろうという考え方をしたということで最初に申し上げます。
0:57:56	そのあとホデさんからも、
0:58:00	ご指摘いただいたようにそもそも密度変化っていうのがミッションなんではないかと。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:58:06	そんなことも考えられたらというご指摘も受けて、我々の方としても考え、考えたというのが今回なんです。それが真木層と、
0:58:18	アージュ関所に移ったり、結局、形の中で閉じて、また液相に戻ったりした分が、液相に移った分は、5首御庄の量で0.1%。
0:58:30	なんでそれで戻る量がどのぐらいかっていうのはそこ平行反応になってしまうので、正確にはわからないですけども、密度としてはほぼほぼ変わらないだろうとなる。
0:58:40	という理解をしまして、今回の評価ということになります。つまり、形としてはですね閉じ込められた形の中で原子個数密度の変化は、
0:58:53	省益層と何だか答えの方との分配の割合が変わってるんですけど、元用としてはもう微少なので、もう
0:59:03	こういう、そういう医療状態の中であれば、遮へい解析には影響しないだろうというふうに結論に至りまして今回の評価になったと。
0:59:13	いう次第でございます。
0:59:16	以上です。
0:59:19	慶長の佐野です。今お話いただいたところ、
0:59:25	考え方を混乱させるような、余計な記載は説明としてないなくなってるというふうに理解してよろしいでしょうか。
0:59:38	はい。現存マツモトです
0:59:43	私どもの方としては今申し上げたような考え方をきちっと整理して載せる中に記載。
0:59:50	さしていただくということで書いたつもりです。はい。
0:59:59	はい。
1:00:00	はい。
1:00:03	規制庁の真下です。その他、規制庁側から何かご意見等あればお願いします。
1:00:14	なければ私から。すいません。
1:00:17	ちょっと待って。
1:00:21	行きよろしいですか。ごめんなさい。
1:00:24	大丈夫です。
1:00:26	ごめんなさい。ホデですけども、よろしいですか。
1:00:31	はい。はい。すいません。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:00:35	であればね、例えばその0.1%例えばそれが、例えば、月初水にした ら、こんなところのこの程度ですよってということがね、やっぱその辺 が、
1:00:47	わか分かるわかるレベル。
1:00:49	というところがね、すごく大きいと思うんですね。ですから、
1:00:56	あんまり遊離するとか何とかっていうところ自身を、
1:01:02	どうですかねちゃんと考えた上で無視できる数値だっていうのがね、わ かるような形でまとめていただいて、
1:01:13	明確に原燃輸送の方の考え方がね、伝わるようにしてください。
1:01:20	で、結局、
1:01:23	どうですかねへ。
1:01:25	非常に大事なものは減ってもね影響があるかないかちゅうところだと思 うんですね。だから、実際解析でこの程度の桁差、例えば例で言うとね 桁数でこの程度しか考えてないのにこの下のちょろちょろがね、変わっ てなもんじゃないかね。いうところもあるでしょうし、
1:01:41	いうふうなところ。
1:01:43	あるでしょうしね。ですからそういうことでね。要は、これはもうみず からに計算に響くような話じゃないよねっていうふうなところがね、
1:01:54	いえるような形でな、ちゃんと結論を導いていただければと思います。
1:02:02	要は、貝瀬。
1:02:06	どういかなこっちへ、こっち側での一つの例示みたい令室はおかしい けども、
1:02:13	要は、中の形に閉じ込められてますと、で、一応ポイントが存在するん で、本ボイラーが存在してて、そちらにその放射線分解によって、わず かに、
1:02:27	逃げるようなものがあるんだけども、それに伴う減少、リース密度なの か、水槽の数なのかちょっとわかりませんが、というのは大目に見 積もっても高高こんなもんですと。
1:02:38	ということで、もう1000分の1万分の1っていうオーダーであれば ね、それはそれで、あそこは全然変わってないのと一緒だねというふう なことがわかるようで、
1:02:49	わかるような形で、しお示しいただければと思います。
1:02:55	要は、もっと言うと例えば、計算で使ってる水の有効数字とかね、そう いうものも含めてね、その辺の下の方の値だと、いうふうなことがね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:03:07	見ればいいのではないかなと思いますんで、よろしくお願いします。
1:03:13	でしょうか。
1:03:14	はい。幻想マツモトですご指摘いただいた内容をよく検討しましてええと、
1:03:20	記載、記載の方考えさせていただきたいと存じます。
1:03:28	すいません。規制庁の真下です。へえ。
1:03:33	その他は問題。
1:03:39	衛藤。
1:03:41	はい。
1:03:44	日本語がおかしいよ。
1:03:46	であれば、
1:03:51	坂さん。
1:03:53	結構、
1:03:55	この、この資料だとわからない。
1:03:57	はい。
1:04:02	はい。
1:04:04	藤社長マシモですけれども。すいません。では今日のヒアリングを踏まえてですね、
1:04:12	次補正ができるとする等、いつぐらいっていうのは大体めど立ちそうでしょうか。
1:04:32	ちょっとした、
1:04:39	その点すみません等、
1:04:41	今日ご指摘いただいた時点を踏まえて反映するのとあといろいろ、新補正申請にあたりましては、我々の方でのチェックとか含めて、そうですね約、
1:04:53	2 から 3 週間 3 週間程度、
1:04:56	あれば、いただければですね補正申請させていただきたいというふうに思っています。
1:05:01	以上です。
1:05:03	ただ 1 場所でそうすると、
1:05:05	2 月のう。
1:05:08	13 名、中旬、
1:05:10	そうですねはい。
1:05:12	いかがでしょうか。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:05:17	6 ないし 4 車線になるということですか。
1:05:28	そうですか。すいませんなぜかというですね
1:05:35	これ、特段何かこう再解析とかそういうのが必要なわけではなく、今書かれています記載を、またいろいろと、
1:05:46	整理して書き直すだけなので、正直な話。
1:05:52	社内の方ですね方針さえまとまれば、
1:05:55	もうあと書くことって決まってるんじゃないかなと思うんですけども、
1:05:59	そんなに時間かかるのかなというのはちょっとすいません正直な感想です。はい。
1:06:04	ちょっと、どのような手続きが何かちょっと私は把握してないんだと思う。そこについてはいいですよ。
1:06:11	ですねおっしゃる通り、再解析とかそういうのはないのでないですね。なので、ただその変更、変更点。
1:06:24	とか、それをチェックする。
1:06:28	加賀もろもろして、何とか社内の手続きがありまして、とはいいですね
1:06:37	おっしゃる通り、計算とかはないので、できるだけ早くですね、頑張らせてもらいまして、
1:06:44	たいと思います。なので、ロックの週の後半か 132 課にわたってっていうところ辺を目標にやらしていただきたいと思いますけどもいかがでしょうか。
1:06:59	規制庁の真下です。はい。
1:07:01	とりあえずは、
1:07:03	ちょっと、できるだけそこは、
1:07:06	6 の所ですか、三つどうしても使えれば、おそらく 13% ぐらいかなという、我々今、今理解しました。
1:07:17	はい。
1:07:18	はい。
1:07:19	そういうことでません。はい。よろしく願いいたします。はい。市長はい、承知しました。
1:07:26	あと、この新案件について原燃輸送側から何か質問等あればお願いします。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:07:57	すみません、13番の飲酒管理の方法についてですけど、これ一応この今回提出した資料では、CSSに添付する方と参考資料3みたいな感じで、
1:08:13	追加説明する方針と記載しているんですけど、スタート。
1:08:19	この別紙期にだけ、何か詳細な解説書を申請書につけるのは、主微妙な位置付けだなあと考えていて、このヒアリング回答資料に記載した個々の内容をご確認いただいたということで、
1:08:33	特に申請書でつけないということも考えてはいるんですけど、どちらが良いですか。
1:08:42	規制庁さんの方ですけども、今言った説明の内容、質問の内容が、
1:08:48	ちょっとよくわからなかったんですけども。
1:08:56	前回のヒアリング時に、品質管理の検討があるならこの旨を、
1:09:03	何か何らかの形で表して欲しいと言われておまして、し、基本的には申請書につけるのかなという発想で、参考資料を追加することを考えていたんですけど、この今
1:09:16	申請書内容の事実確認というこのヒアリングの場で、品質管理の部分はこういうふうになりましたという資料を提出しているので、この内容をご確認いただいて、
1:09:26	ということで、申請書にわざわざつけることはなしでもいいのかなと思って、
1:09:32	そういう考え方もあるのかなと思っています。
1:09:38	規制庁のサンゴですけども、
1:09:41	設計変更承認申請D、
1:09:45	様式の中に変更。
1:09:48	したところを説明するようになっていたかと思うんですけども、
1:09:53	そこ2、
1:09:55	書く内容が、
1:09:57	ということではない。
1:10:01	でしょうか。
1:10:09	ですね、ちょっとこれもこの図の第1表の形で示しにくいのでちょっと解説文みたいな形で書いているんですけど、この
1:10:21	青を資料1で、
1:10:23	つけていた、申請、前回申請と今回申請の比較表を、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:10:29	今回これ改めて付け入る必要がないと判断していますと、もちろん想定申請の変更箇所は、り、変更点リストとして育ちするんですけど、
1:10:43	市へ補正前の変更点リストを改めて提出する必要もないかなと考えていたら、その
1:10:51	えと、この前回申請分の、
1:10:54	変更箇所を示す資料がなくなってしまうので、ちょっと、
1:10:59	向こうの品質管理の部分の変更かをどこに書けばいいかなあというふう
	にちょっと悩んでいたんです。
1:11:07	すいません。規制庁の西坂です。質問の趣旨というのが、おそらく、例
	えば、今回、設計変更承認申請を出しますと、
1:11:17	は大分前にありますけど、昔とったすでに取った承認申請と、今回の変
	更する。
1:11:25	承認申請、その差分の部分が一覧となっているものを、おそらく多分その
	マトリックスだけ、新旧みたいな形で出すにあたって、今回のこの品管
	の部分を、
1:11:37	別にした方が良いのか、それともそれは一緒にまとめて出した方が良い
	のかという、そういうご質問でしょうか。
1:11:50	越冬ですね。
1:11:52	今回、改めて補正でお出しするときは、申請した場合と、補正した場合
	の変更箇所のリスト。
1:12:00	リストという硬い企業をおつけします。
1:12:03	で、すでに申請した箇所、
1:12:07	もう解説みたいな位置付けのこいつを、
1:12:10	付けるべきなのか、このヒアリングの場で説明したからそれは吉山日ご
	提出したからそれはそれでよしとされるか。
1:12:20	同意すればいいでしょうみたいな感じ。
1:12:28	規制庁サンゴです。そもそもの、
1:12:32	申請時の
1:12:36	書類、
1:12:40	そちら、今お手元にありますか。
1:12:50	すいません。あります。
1:12:52	3番変更内容という欄があるかと思うんですね。Pでも、Bでも、
1:13:01	はい。
1:13:03	うん。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:13:05	ここで、
1:13:10	説明書を追加するしかない。
1:13:14	のを、
1:13:16	衛藤。
1:13:18	この間、この何て言うんすかね。(1)のポツの一番最後、中ほど一番最後だと。
1:13:26	書類がそのまま移動したっていうふうに、
1:13:30	meanですね。
1:13:36	実際には、その内容が変わったっていうことを言ってることもあるんですよ。
1:13:49	はい。その通りで、
1:13:54	書類がどこに書いてあるのが変わりましたということじゃなくて、書類の中身をどう変えたのかっていうのを、
1:14:01	書いてくださいねっていうコメントをしたつもりだったんですけども。
1:14:09	うん。
1:14:09	はい。
1:14:11	そうですね。そう例は、
1:14:14	格好認識しては、
1:14:16	そうするとですね、この3番の、
1:14:20	変更内容っていうところに、
1:14:24	この解説したところがこれだけ長く書くのか、もっと短くまとめられるのかちょっとわかりませんが、
1:14:33	説明されルー。
1:14:36	んのがー。
1:14:38	いいんではないでしょうかね。
1:14:41	か。
1:14:42	沼田です。それも菅が行ってちょっとボリュームの観点で、何かバランスが悪いから参考資料に飛ばそうかなそれとも、
1:14:52	何かヒアリングです。
1:14:53	説明したからもう良いってなるかなと思ったんですけど、ここの箇所をちょっと拡充しないと理解できないでしょという趣旨を踏まえて、ちょっともう少し簡単な記載を、
1:15:05	申請書のこの、特に記載する。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:15:08	という考えでいきたいと思います。
1:15:19	ヒアリングで事実関係をする中で、
1:15:22	いいか悪いかっていうのは、言いにくいんですけども、そういうことでいいんじゃないですかね。
1:15:30	はい。網野飯田です。はい。承知しました。理解しました。
1:15:36	今おっしゃったバランスが悪いかなみたいところで、変更内容のバランスが悪いからたくさん書けないみたいになってくると、そもそも書類出し成り立たないので、別にそういったことは考えなくてもいいんじゃないかなと。
1:15:49	もちろん
1:15:51	理解する上で、別表に飛ばしたほうがわかりやすいとか、別紙に細かく書きますみたいなのところも、もうやり方としてはあると思いますし、それは否定しないんですけども、
1:16:01	参画等、
1:16:03	変みたいなんだったら、そもそも何か書類にかける分量みたいなのが決まってしまうので、
1:16:10	何かちょっと違うのかなと思いますけど。余談です。すみません。他に何か確認、
1:16:17	一部補正をする上で確認しておきたいことがございましたらお願いします。
1:16:30	N-Sヤタです確認したいことは、以上です。
1:16:36	はい。規制庁の真下です。はい、ありがとうございます。
1:16:40	では、これで
1:16:42	本ヒアリングを終了したいと思います。本日はありがとうございます。
1:16:47	ありがとうございます。ありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。